

【働き方改革のアイデア】

2020. 11. 9

中教審答申				
○「子供のためであれば、そんな長時間労働も良しとする」という働き方の中で、教師が疲弊していくのであれば、それは子供のためにならない。				
○働き方改革の目的は、教師がこれまでの働き方を見直し、自分の授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること。				
内容	担当	やめる	変える	減らす
A時間割の工夫 ②5時間授業の実施	教務部		②成績処理，学年始め，学年末等の繁忙期に5時間授業を実施(3学期)	
B朝の業務等 ③朝自習，朝読書の役割分担等朝の業務縮減	教務部	③ 使用しやすい掲示の方法を工夫し，朝の打合せの時間をなくす。 ・職員室前方の掲示板，週案の活用	③朝学習，朝読書指導の役割分担 ※現金徴収期間の配慮	
C授業・授業準備 ④学習指導案や教材の共有化	ICT担当，研究部			④教科，特活，道德等のデータフォルダ，教材保管
D放課後の業務 ⑥複数顧問制の適正化	教頭 部活動担当			⑥正顧問と副顧問で交代制(分担)で指導 → 曜日を決めて，勤務時間内に学年会を実施(11月)3年生の進路指導時期の配慮
				⑥部活動の在り方の検討 ・合同トレーニングの実施。(特定の時期や特定の曜日) ・指導予定表を作成し，担当のない顧問は定時退勤等
D⑦部活動数の精選	教頭 部活動担当			⑦生徒数，学級数の減を見通した部活動数の精選
E⑧会議のペーパーレス化，会議の開始・終了時間の厳守	教頭， 教務		⑧会議のルールを決める ・緊急時を除き退勤時間以降の会議は行わない ・上限時間設定，資料の事前配付，確認，テーマ設定 →協議事項には，印をつける	
E⑧会議のペーパーレス化，会議の開始・終了時間の厳守			⑧時間外には会議は行わない→月曜日以外に学年会を設定する(部活の指導者を調整)	

内容	担当	やめる	変える	減らす
E⑨校内研修の精選	研究部			⑨研修の重点化→研究部で検討（全体研修と担当者の研修に分けて実施，重点的な研修については、短縮にして、放課後の時間を確保する 等）
F⑩学校行事の精選，地域行事への参加の精選	三者各部	⑩スクラップできることの洗い出し(アンケート) ・重複記事は削減		
F⑪定時退勤日（週1～2回,月4回以上）	教頭		⑪実施可能な定時退勤日を設定(月曜日等)	
F⑫学校完全閉庁日の導入				
F⑬留守番電話の導入	教頭	・留守番電話設置→次年度 ※電話対応時間の設定 ・電話対応時間等のルールの設定及び保護者への周知		
G市，学校独自の取組	生徒指導部 研究部		⑯ R 2 計画訪問から実施（略案形式検討） ※校内研修も同様 さらに改善策を検討	⑰下校指導（生徒指導部で検討） 済→検証 ・重点ポイントを絞り，配置，下校指導当番をグループ分けして分担 ・日直の仕事優先
	教頭	⑭口座引き落とし，銀行からの未納通知発行等， 現金徴収をできる限り行わない 方法を次年度に行えるよう準備する(教頭，事務)	⑮勤務振替を実際に取得できる環境作り（振替予定表の作成）	⑲複合印刷機→テスト，教材プリント等の印刷業務削減 ・校務支援システム （勤怠管理・出欠管理・施設や物品管理・庁内電子メール）
	教務， 教頭		⑰働き方の意識改革を図るための研修 ・どうしても残業しなければならないものの内容の把握 ・業務分担や分掌の見直しなど	⑳試験の一部にマークシート方式を導入 通知表の簡素化（所見の廃止）